

# 公益財団法人京都市芸術文化協会 平成27年度 事業計画

## I 自主事業

当該事業は、会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業であり、この事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ることとします。

### 1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

#### (1) 機関誌『藝文京』の発行

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、機関誌『藝文京』を年2回（予定）発行します。（1,500部×2回）

#### (2) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行います。

また、会員が実施する教室やワークショップ等の情報を発信するページを、新たに設けます。

### 2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

#### (1) 各種芸術文化事業の実施

各分野の会員と協力し、芸術文化事業を実施します。

事業名	事業内容
第40回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル (ロームシアター京都オープニング事業)	日程：1月31日(日) 会場：ロームシアター京都 出演：京都府吹奏楽連盟所属団体

※ 平成26年度に実施した「芸術文化 和の祭典」については、ロームシアター京都オープニング事業として平成28年9月に開催することを目指し、平成27年度は企画案の検討を行います。

※ その他のロームシアターオープニング事業として、「京都民謡まつり」（平成28年4月）、  
「秋の合同バレエ祭（仮称）」（平成28年11月）を予定しています。

※ 平成28年度に芸文協創立35周年記念事業を実施することとし、企画検討を進めます。

#### (2) 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）

会員が実施する事業に対して、後援・共催等の支援を行います。

### 3 芸術文化に関する教育及び普及

#### (1) 子ども向け体験事業

例年好評の子ども芸術体験教室を、夏休み・冬休みの時期に実施します。

事業名	事業内容
夏休み邦楽体験教室	日程：7月27日、8月3日、10日、17日、20日（5日間） 講師：邦楽分野会員 ※ 成果発表を8月23日に京都芸術センターで行います。（邦舞と同時開催）

夏休み邦舞体験教室	日 程：8月11日、12日、18日、19日（4日間） 講 師：邦舞分野会員 ※ 成果発表を8月23日に京都芸術センターで行います。（邦楽と同時開催）
夏休み能楽体験教室	日 程：7月28日、29日、30日、8月4日、5日（5日間） 講 師：伝統芸能分野会員 ※ 成果発表を8月6日に大江能楽堂で行います。
冬休み芸術体験教室	日 程：12月下旬～1月上旬で調整中 講 師：各分野会員 ※ 具体的な実施コース等については検討中です。 ※ 作品展を1月中旬頃に京都芸術センターで行います。（一般向けの芸術体験教室と同時開催）

※ 教室の会場は、いずれも京都芸術センターです。

## （２）一般向け体験事業

従来の子ども向け事業に加え、一般向けの体験教室を実施します。

事業名	事業内容
芸術体験教室	日 程：調整中（平日夜間コース、休日昼間コースを想定） 会 場：京都芸術センター 講 師：各分野会員 ※ 具体的な実施コース等については検討中です。 ※ 作品展を1月中旬頃に京都芸術センターで行います。（子ども向けの冬休み芸術体験教室と同時開催）

## 4 芸術家等の育成及び顕彰

### （１）芸術家等の育成

若手を中心とした作家の活動を支援し育成していくため、展覧会を実施し、発表の機会を創出します。

事業名	事業内容
京都いけばなプレゼンテーション 2015	華道分野団体会員によるいけばな展示とワークショップ等 日 程：6月6日、7日
藝文京展 2016	版画・絵画を対象とする全国公募展 応募登録期間：10月上旬～12月上旬 審査：12月下旬 展覧会：1月6日～27日（初日に表彰式・講評会を開催予定）

※ 会場は、いずれも京都芸術センターです。

### （２）芸術家等の支援

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を表彰します。

## 5 その他会員関連活動

### （１）総会・懇親会

平成 27 年 7 月 7 日（火）に会員総会・懇親会を開催します。（会場：京都ホテルオークラ）

### （２）会員増加に向けた取組

藝文協創立35周年（平成28年度）を見据え、会員の増加を目指し、新規入会を促すツールとして、協会の魅力や活動状況などをまとめたリーフレット等を作成します。

## Ⅱ 受託事業

当該事業は、京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「京都文化芸術都市創生計画」に基づく京都市の事業を中心に受託しており、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して、京都市の文化芸術行政の一翼を担っています。

### 1 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館で開催します。(6月26日、8月20日、12月4日、3月4日)

※ 前売2,500円 当日3,000円 年間席札8,000円 (8月20日のみ高校生以下500円)

### 2 京都文化芸術プログラム2020関連事業

京都市が平成26年度に策定した「京都文化芸術プログラム2020」におけるリーディングプロジェクトの一部事業を実施します。

#### (1) 学校教育を通じた教育普及事業(ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業)

京都市内の小学校、中学校、幼稚園、保育所、児童館等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。

平成27年度は、伝統芸能、伝統文化の分野を中心に約45校で実施します。

#### (2) アーティスト・イン・レジデンス関連事業

平成26年度に引き続き、Kyoto A.I.R. Alliance Festivalに合わせ、ケルンとの国際共同制作事業を行うと同時に、冊子を作成します。ネットワーク・センターとして、情報発信、アーカイブ、ノウハウの蓄積をめざします。また、アーティスト・イン・レジデンスに関するシンポジウムを開催します。

### 3 助成関係事業

#### (1) 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務

#### (2) 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務

#### (3) 文化芸術顕彰制度 表彰業務

### 4 その他

#### (1) 京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。

#### (2) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」関連事業

札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「観喜能～KANKINOH～」公演を実施します。

開催日	内容	出演	会場
6月16日	創生劇場「観喜能～KANKINOH～」 *同日13:00～流派をみくらべる レクチャーも開催	片山伸吾、観世喜正、 大島輝久、佐々木多門、 茂山茂ほか	札幌市教育文化会館

#### (3) PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 サポートスタッフセンター運営事業

京都国際現代芸術祭組織委員会からの受託事業として、同芸術祭を運営するサポートスタッフを育成・管理します。

### Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

当該事業は、京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行ってきました。平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営を行っています。

#### 【活動センター機能】

#### 1 伝統的芸術の継承・創造事業

##### (1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を6回開催します。

開催日	席主	内容
4月25日	超京都（代表：松尾恵、現代美術）	縄文期の食べ物と飲み物
6月27日	堀ロー子（中国茶コーディネーター）	中国茶

その他については、調整中。

料金：1,000円

##### (2) 継ぐこと・伝えること

テーマを設定し、さまざまな伝統芸能を紹介する公演を3回開催します。

##### (3) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」

京都の歴史を彩り都市の資源ともなっている伝統文化や伝統芸能を、市民や観光客が気軽に鑑賞し、それらに身近に触れる機会を提供する様々な事業を平成24年度から引き続き、京都市との共同事業で実施します。

#### ア みくらべ公演

伝統芸能における流派や表現の違いをみくらべる公演を2月下旬に開催予定です。伝統芸能の初心者およびより一歩深く知りたい観客層に呼びかけます。平成28年度の創生劇場本公演につながる内容とします。

## イ 伝統芸能ことはじめ

伝統芸能を楽しむため、テーマを決めてわかりやすく解説する講座を6回実施します。

開催日	演目	備考
4月4日	勸進帳	講師：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授） 会場：大広間 料金：無料
6月13日	国性爺合戦	
9月5日	天守物語	
11月3日	実盛物語	
1月9日	黒塚	
2月6日	元禄忠臣蔵	

## ウ 月イチ☆古典芸能シリーズ

月に一度、古典芸能に触れ、楽しむ企画をシリーズで開催します。

## エ 札幌市からの受託公演（再掲）

札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「観喜能～KANKINOH～」公演を実施します。

開催日	内容	出演	会場
6月16日	創生劇場「観喜能～KANKINOH～」 *同日13：00～流派をみくらべる レクチャーも開催	片山伸吾、観世喜正、 大島輝久、佐々木多門、 茂山茂ほか	札幌市教育文化会館

## 2 芸術家・芸術関係者育成事業

### (1) わざゼミ

伝統工芸の知識や手法の継承、および若手芸術家の育成のため、27年度は伝統工芸に携わる職人や作家へのインタビュー等を行い、実態やニーズの調査を行います。また昨年度に引き続き、手機の貸出を行います。

### (2) トラディショナル・シアター・トレーニング (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施します。

平成27年度は、能、狂言及び日本舞踊等のオリエンテーション（7月24日）の後、各コースに分かれトレーニング（7月25日～8月11日）を行い、大江能楽堂で成果発表（8月12日）を行います。

<対象> 演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、あるいは研究活動を行っている者

<定員> 24名（日本舞踊・能・狂言 各8名程度）

<講師> 能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行

狂言：茂山あきら・茂山童司・丸石やすし

日本舞踊：若柳弥生

※ プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ

<受講料> 一般70,000円（選考による特別割引あり） 学生50,000円

### (3) KAC Performing Arts Program 2015

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロス・ジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指します。

#### ア Contemporary Dance

事業名	内容	開催時期
大植真太郎 新作公演& WSオーディション	公募による関西の若手ダンサーとともに、約2週間のクリエーションを行い、大植振付の新作ダンス公演を行う。出演者はWSオーディションを開催し、選出。	公演（2回） 8月29日、30日 WSオーディション 5月31日、6月1日
大野一雄 映像作品展示と 舞踏WS	舞台芸術研究センターと共同で開催する。大野一雄の映像作品の展示とともに、舞踏を知るWSも重ねて開催する予定。	11月26日～12月1日展示
ワークショップ	数名の講師を招いてWSを開催する予定。 講師案：工藤聡ほか	工藤聡WS 12月14日～17日

#### イ Contemporary Theater Program 演劇計画Ⅱ－戯曲創作－

事業名	内容	開催時期
演劇計画Ⅱ －戯曲創作－	平成25年度から3年間にわたり実施している、新作戯曲の創作および上演に向けたプログラム。テーマは「二幕の悲劇」。最終年度に当たる27年度は、柳沼昭徳、山崎彬の作・演出による戯曲作品を完成させ上演する。	柳沼作品公演 10月2日～10月5日（計4回） 山崎作品公演 10月24日～11月1日（計8回） *それぞれ3～4週間のクリエーションを行う。

#### ウ Music

演奏家であり作曲家である三者を招き、新作を発表します。3回目は分野の異なる奏者とともに新作を創作します。

開催日	事業名	出演・内容
9月13日	Double Respiration-巴(仮)	朴守賢（パクスヒョン）の巴鳥（バーウー）と中川日出鷹のファゴットによる新曲発表
調整中	打楽器のための室内楽(仮)	橋本知久とU-zhaan（ユザーン）による、タブラに焦点をあてた音楽公演
調整中	さまざまな声(仮)	分野の異なる声の演奏者とともに新作をつくる

### (4) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 SPRING

京都国際舞台芸術祭については、これまでの5回は秋に開催してきましたが、次回は、平成28年1月にリニューアルオープンする「ロームシアター京都（京都会館）」のオープニング事業の一環として、平成28年3月に開催します。

例年と同様、舞台公演だけでなく、公式プログラムの一環として展覧会をギャラリーで開催します。

### (5) 作家ドラフト2016

若手アーティストの発掘・支援を目的とし、各界の第一線で活躍する方を審査員に招き、その独自の視点から審査する公募展を開催します。

会期	審査員	公募期間
2月6日-2月28日	小沢剛 (美術家)	平成27年3月7日～5月10日

### (6) 展覧会「新incubation7」

創作手法やテーマ等何らかの共通点を持つ新進若手作家とベテラン作家による展覧会を実施します。ニュー・ブランシュ2015との連携企画としても行います。

会期	出展作家
9月5日-10月	ピエール＝ジャン・ジルー、寒川裕人

### (7) KAC Selection 「International Showcase」

横浜で開催されている国際舞台芸術ミーティング (TPAM) に合わせ、同時期に実施します。国内外のプレゼンターや劇場関係者に、京都で活躍する若手アーティストを紹介する場としてショーケースを開催します。国際舞台芸術ミーティング (TPAM) とも連動する予定です。  
開催期間：2月6日～21日

## 3 先駆的・実験的事業

### (1) ニュイ・ブランシュ2015

平成25、26年度に引き続き、ニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月3日(土)に実施します。平成27年度は、同時期に開催中の「新incubation7」出展作家によるプログラムを開催します。

### (2) フェルトシュテルケ・インターナショナル (Feldstärke International)

平成26年度に実施したフェルトシュテルケを引き続き実施していくため、27年度は海外の連携先等の調査・準備を進めます。

## 4 制作・発表支援事業

### (1) 制作支援事業 (制作室使用者募集)

京都芸術センターの制作室を、美術作品の制作、ダンスや演劇の稽古場 (発表する公演会場が決まっていることが前提) 等として使用を希望する芸術家を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供します。年2回 (3月及び9月) 募集予定です。

### (2) 発表支援事業 (共催事業募集)

京都芸術センターで実施する事業として相応しい企画を公募し、講堂、大広間及びフリースペース等の施設を、芸術作品の発表の場として提供します。

## 【情報センター機能】

### 1 芸術文化情報の収集・発信事業

#### (1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

#### (2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

#### (3) 通信紙の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。

#### (4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

#### (5) 京都文化芸術オフィシャルサイト <Kyoto Art Box>

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。

これまでは、京都市からの受託事業でしたが、平成27年度からはセンター事業の一環として実施します。

#### (6) 京都芸術センター叢書

第1巻の「継ぐこと・伝えること」に引き続き、第2巻は小林昌廣氏に講師を依頼している「伝統芸能ことはじめ」を発行します。発行後は、書店と協力しトークイベントも重ねて実施します。

### 2 教育普及事業

#### (1) 大学・高校等への教育普及

教育普及については、中学生以下を対象とした京都市からの受託事業「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」に加え、高校、大学等を対象として芸術センターの活動内容を紹介するため、出張授業の実施や見学等の受け入れを行います。

#### (2) インターンシップ・プログラム

8月の約10日間、インターンとして、主にアートマネジメントや芸術学を専攻又は志す学生を受け入れます。平成26年度に引き続き、大学コンソーシアム京都と連携して実施します。



## 【交流センター機能】

### 1 国際交流事業

#### (1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の優れた芸術家・芸術関係者を受け入れ、京都芸術センターでの創作活動を支援するとともに、市民や国内の芸術家等との交流を図るレジデンス事業を実施します。平成27年度は、応募205件(42カ国)の中から、2組のアーティストを受け入れるほか、京都市立芸術大学やオーストラリアのAsialinkとの連携のもと、3組のアーティストを招へいします。

滞在期間	氏名	ジャンル	居住国	区分
5月10日－8月10日	Hansol Yoon	演劇	韓国	公募
5月10日－7月10日	山本 浩貴	美術	イギリス	公募
5月12日－5月23日	Araya Rasdjarmrearnsook	美術	タイ	招へい (京都芸大)
9月－11月	Marti Ruiz	音響彫刻・ 研究・修復	スペイン	招へい (京都芸大)
9月16日－11月5日	Dylan Sheridan & Laura Hindmarsh	映像・ サウンドアート	オーストラリア	招へい (Asialink)

※ Araya Rasdjarmrearnsook、山本浩貴については、ギャラリーでの成果発表展を開催します。

#### (2) Kyoto A. I. R. Alliance Program; vol.1 Kyoto×Köln

京都とケルンからそれぞれ数名ずつアーティストを公募・選出し、ケルンでの上演も目指した共同制作・発表を行います。特に京都の他のレジデンス施設、団体との協働し、京都全体で行うレジデンス・プログラムとして、新しい方式を試行します。また、KAC Selection「International Showcase」での発表を目指します。

#### (3) Kyoto AIR Alliance Festival 2015

平成26年度に引き続き、主に海外のアーティストによる滞在制作を伴う公演や展覧会を紹介するフェスティバルを開催します。京都に拠点のあるレジデンス施設や団体の連携を図ると同時に、一般市民に向けてアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業の認知を高めることを目的とします。期間中、AIR関係のシンポジウムやネットワーク会議を実施します。また、情報を集約し海外への発信力を高めると同時に、京都のアーティスト向けの海外のレジデンス情報の提供も積極的に行います。

実施期間：平成28年1月～3月（調整中）

主催：京都芸術センター、京都文化芸術コア・ネットワーク

共催・連携(調整中)：ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク、

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ヴィラ九条山、山懐庵、

寄す処、京都市立芸術大学ギャラリー@kcua、

東山アーティスト・プレイスメント・サービス、AIRネットワーク準備会 等

## 2 市民及び芸術家相互の交流事業

### (1) 展覧会「夏休み企画」

子どもも大人も楽しめる展覧会企画とワークショップを開催します。

会期	展覧会名	内容
7月20日～8月30日	夏休み企画展2015 『ハイパートニック・エイジ』	20代後半の若手作家4名による 企画グループ展

### (2) 明倫レコード倶楽部

SP盤とLP盤によるレコード音楽鑑賞会を5回、開催します。講師はいしいしんじ、亀村正章。

開催日	講師	テーマ
6月28日	いしいしんじ	ひろがるうた
7月4日	亀村正章	昭和初期の軽音楽-ルンバの流行-
11月29日	亀村正章	フルトヴェングラー特集
12月26日	いしいしんじ	つつみこむうた
2月14日	亀村正章	早春へ音でお誘い

※ 参加費：500円（番外編は無料）

### (3) 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo Today vol. 6

京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催します。

日時：2月17日 19:00開演

### (4) 素謡の会「宙にただよう恋」

伝統芸能である能楽に気軽に触れてもらうために、毎年テーマを設定して曲目を取り上げ、素謡の上演、曲の解説を行います。

平成27年度は、前年度に引き続き田茂井廣道氏のナビゲートにより、大和猿樂最古参とされる由緒ある流派、円満井座の流れを受け継ぎ金春一座を率いて活躍した金春禅竹による4つの演目を取り上げるほか、<観能ツアー>と、演目ゆかりの地で<謡曲ひとめぐり>を開催します。

開催日	演目	出演者
6月11日	楊貴妃	杉浦豊彦、河村晴久、分林道治、宮本茂樹、田茂井廣道
9月17日	小督	片山伸吾、吉浪壽晃、大江信行、橋本忠樹、田茂井廣道
11月5日	定家	河村晴道、味方健、味方玄、深野貴彦、田茂井廣道 他
2月4日	雲林院	浦田保浩、浦田保親、橋本光史、林宗一郎、田茂井廣道 他

※ 料金 前売1,500円 当日1,800円 年間席札5,000円

#### <観能ツアー>

ナビゲーターの田茂井廣道氏の解説を聞いた後、実際に能を鑑賞するツアーを開催します。

開催日	演目	出演者	会場・料金
4月26日	養老、楊貴妃、阿漕	田茂井廣道ほか	会場：京都観世会館
7月26日	兼平、蟬丸、天鼓	田茂井廣道ほか	料金：3,500～4,000円ほか

#### <謡曲ひとめぐり>

金春禅竹渾身の作である『小塩』を取り上げ、その舞台となった場所を訪れ、お茶を飲みながら素謡と仕舞を上演します。

開催日：3月5日 会場：大原野神社 料金：2,500円 定員：30名

出演：味方團、大江信行、松野浩行、田茂井廣道ほか

### (5) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。

### 3 地域・学術・産業との連携事業

#### (1) ダンス事業 (Dance 4 All 2015)

年齢やそのたどってきた人生もさまざまな人たちが、その人にしかできないダンスを紡ぎ出し、ひとつのダンス作品へ結集させていく「Dance 4 All」。平成27年度は、26年度に公募により選出された5人のファシリテーターが京都のコミュニティダンサーと約2ヶ月におよぶクリエーションを経て創作したダンス作品を、上演します。

ファシリテーター：市川まや、巖良明、渋谷陽菜、鈴木英理子、余越保子

公演：5月31日 会場：講堂、大広間

料金：前売1,000円、当日1,500円、小学生以下無料

※ 報告会を、開催後に実施予定。

#### (2) 主な地元関連事業

開催日	事業名
5月23日、11月27日	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月7日、8日	明倫文化祭 (主催)明倫自治連合会
11月	まちなかを歩く日 (主催)明倫まちづくり委員会

#### (3) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。

※ 登録者数 274名 (平成27年3月現在)

#### (4) 学術との連携

京都市立芸術大学とのアーティスト・イン・レジデンスの共同取組など、学術との連携をすすめます。

### 4 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営します。

これまでは、京都市からの受託事業でしたが、平成27年度からはセンター事業の一環として実施します。